

きっと家族の  
命をつなぐ。  
きっとその時  
役に立つ。

No.  
16

SNSが広く一般に浸透した現代は、誰もが情報の発信者だといえます。利便性は高まる一方で、災害時に一般のSNSユーザーから発信されたその情報、すなわち“フェイクニュース”が拡散され、さまざまな人を混乱させるケースが頻繁に見られています。フェイクニュースは、受信した自分が当惑するだけでなく、信じ込んだ結果拡散することで加害側になってしまう危険性もはらんでいます。実際に能登半島地震では「(家屋)埋まっている人がいるから助けてほしい」と

いうネット上の投稿をもとに救助隊が出動したものの、現実には被害はなく、結果的に救助活動が妨害されてしまったケースがあります。一人一人が虚偽の情報に惑わされないリテラシーを持たなければ、救える命を救えなくなる可能性すら生まれてしまいます。誤った情報に振り回されないだけでなく、振り回す側にならないためにも、災害時には情報をきちんと精査しなければならない、ということを心に留めておきましょう。

## SNSにおける実際の フェイクニュース事例

### 2011 東日本大震災

震災直後に千葉県で発生した石油コンビナート火災などを背景に、SNSやチェーンメールで「爆発で有害物質が雲に付着し、雨といっしょに降る」というその情報が拡散された。

### 2016 熊本地震

SNSで「ライオンが動物園から脱走した」という投稿が拡散されたが、実際には南アフリカで撮影された画像で、震災とは無関係だった。

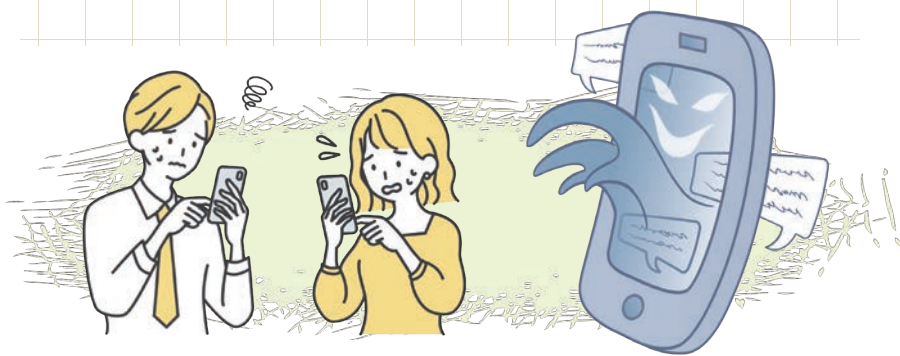
### 2018 西日本豪雨

「レスキュー隊や自衛隊に似ている服を着た泥棒が大量に発生」との情報がSNSで拡散され、自治体や警察に問い合わせが殺到した。

### 2024 能登半島地震

「志賀原発で放射性物質を含む水が漏洩中であることを示す画像が、NHKのロゴとともにSNSで投稿されたが、実際にはNHKの投稿ではなく、画像も故障した変圧器で油が漏れている様子をとらえたものだった。

## 災害時にあなたを惑わす フェイクニュースという敵



### “フェイクニュース”はSNSの外にも…

1995年の阪神・淡路大震災でも「避難所を出たら仮設住宅への入居資格がなくなる」といった根拠のないうわさが流れました。当時はSNSがなかったことをふまえると、インターネットの有無に関係なく、災害時にはうその情報が広まりやすいといえます。

## 停電時は、ラジオでの 情報収集を基本に



大手の報道機関  
による報道には、  
フェイクニュースの  
入り込む余地が極め  
て少ないというメリットがあります。テ  
レビの使えない停電時には、スマホに頼  
らずラジオを中心に情報収集することで、  
貴重なバッテリーを守ることが可能に。

ナテックの防災セットには、  
手回しでスマホの充電もで  
きる「ダイナモソーラーラジ  
オライト」が入ったものも！  
※ラジオ付きのライトは一部セットのみ



## 身近な人の話だけで 情報の真偽を判断しない

人は親しい人から聞いた話を信じやすい傾向にあ  
り、災害時には特に家族の話を鵜呑みにしやすい  
といえます。SNSを介さなく  
ても、家族間・知人間でうそ  
の情報が広まることがある  
ので、少しでも違和感があれ  
ば一歩立ち止まって確認す  
ることが大切です。



# 正しい情報を 得るための 心構え



災害の時に

## 画像だけでなく 動画も。ディープ フェイクにご用心

AIが生成する偽の画像・映像は  
ディープフェイクと呼ばれています。  
音声付きの動画はリアリティーを感  
じさせやすく、疑わずに受け入れてし  
まいがちです。同じ情報を報道機関が



ニュースとして報じ  
ているか確認するな  
ど、別の手段でチェッ  
クする癖をつけま  
しょう。

## SNSは、まず報道機関・ 自治体等のアカウント からチェック

フェイクニュースを遮  
断するためには、チェッ  
クするアカウントを絞  
るのがおすすめ。X(旧  
Twitter)の場合、必要  
な報道機関や自治体などのアカウントだけで「リス  
ト」を作っておき、災害時はリスト内の投稿をチェッ  
クするというのも手です。



## きっと役に立つ防災情報 Instagramで発信中!

ナテックは「kit」と連動した防災情報をInstagramにて発信中。誌面とリンク  
した防災情報や、地域のイベントへ防災グッズの販売ブースを出店するなど  
の情報もお知らせしています。ぜひフォローをお願いします♪

フォローは  
こちらから



@bousai\_kitto



“サステナ防災”に  
取り組んでいます!

ナテックは土に還る素材のホイッスルや使い捨て食器な  
ど、環境に配慮した素材で製品をつくっています。誰もが備  
える必要があるからこそ、防災グッズもサステナブルに!



お問い合わせはkit編集部まで!

住所 〒490-1205 愛知県あま市花正寺浦55番地

TEL 052-449-6222

MAIL natec-emergency@natec01.co.jp

kit No.16

発行者 株式会社ナテック

▲ECサイト